宮迫千鶴《花言葉・夕暮れの想い》2007年 アクリル、紙

陽光礼讃

谷川晃一・宮迫千鶴展

In Praise of Sunlight:
Koichi TANIKAWA and Chizuru MIYASAKO

2016. 10/22［土］— 2017. 1/15［日］

休館日：月曜日（ただし1月9日は開館）、12月29日（木）－1月3日（火）
開館時間：午前9時30分－午後5時（入館は午後4時30分まで）

［観覧料］
一般1200円（団体1100円）／20歳未満・学生1050円（団体950円）／65歳以上600円／高校生100円
＊（）内は20名以上の団体料金です。
＊中学生以下と障害者手帳等をお持ちの方（および介助者原則1名）は無料です。その他の割引につきましてはお問い合わせください。
＊ファミリー・コミュニケーションの日：毎月第1日曜日（今回は11月6日、12月4日）は、18歳未満のお子様連れのご家族は、割引料金（65歳以上の方を除く）でご観覧いただけます。
＊無料開館日：11月3日（木・祝）「文化の日」は、神奈川県立近代美術館で開催中の展覧会を無料でご観覧いただけます。

谷川晃一《雑木林の生命》2015年 アクリル、紙パネル

主催：神奈川県立近代美術館

神奈川県立近代美術館 葉山
The Museum of Modern Art, Hayama

The Museum of Modern Art, Kamakura & Hayama
神奈川県立近代美術館

陽光礼讃

谷川晃一・宮迫千鶴展

1960年代から画家として、また美術評論家としても活躍してきた谷川晃一(1938-)と、妻で画家、エッセイストとしても名高い宮迫千鶴(1947-2008)。夫婦ともに美術と著述の両分野において第一線で活動し、中でも谷川の『アール・ポップの時代』(1979年)をはじめとする鋭い美術批評や、宮迫の女性論や家族論などの社会批評は注目を集めました。谷川は1979年以降に「アール・ポップ展」や「チャイナタウン・ファンタジア展」を企画開催するなど、創作活動と文筆活動の両輪で時代を走り続けていました。

その二人が理想とするライフ・スタイルに行き着いたのは、1988年に伊豆高原に移住してからだといいます。都会を離れ、豊かな自然と陽光に満ちた地で「日々の暮らしの中の芸術」を実践するとともに、サンタ・フェやアリゾナ、フィンランドなどを旅し、ネイティブな文化への共感を深めていきました。芸術家夫婦として互いに影響しあい、暮らしと美術の実りある生活を送る中、宮迫は2008年に60歳で永眠しました。

本展では、二人が東京から伊豆高原に移住し、海と山に囲まれた場所での暮らしの中から生み出された作品に焦点を当てて紹介します。アクリル画、水彩画、コラージュや布作品、身近にある様々な材料を組み合わせて作られたボックス・アート、そして最大の見どころは谷川による最新作です。特に「雑木林シリーズ」と題された新作シリーズは、伊豆高原のアトリエの窓から見える緑豊かな雑木林の風景を、単純化されながらも豊かなフォルムと、発光するかのように輝くアクリル絵具で描いたものです。

伊豆高原での日々の暮らしや自然へのまなざし、ネイティブな文化への憧れなどをテーマにした、明るい色彩に満ちた作品の数々を、葉山館という海に面した陽光あふれる場所で
ぜひご覧ください。

谷川晃一(たにかわ こういち)
1938年東京生まれ。画家、絵本作家、美術評論家。独学で制作を始め、読売アンデパンダン展で作家デビュー。同時に精力的に評論活動を展開。1988年に伊豆高原に移住、「陽光礼讃」をテーマに創作を行う。1993年、伊豆高原アートフェスティバル創立。
著書に『草色のギャラリー』など多数。

谷川晃一《黄色い家とひまわり》2015年 アクリル、紙パネル

谷川晃一
《熱帯音楽》
2005年
ミクストメディア

宮迫千鶴《緑の庭》2006年
アクリル、紙

宮迫千鶴
《田舎の神様》
2005年
ミクストメディア

宮迫千鶴(みやさこ ちづる)
1947年広島生まれ。広島県立女子大学文学部国文科卒業。美術活動とともに、写真や美術、家族をめぐる評論やエッセイを発表。1988年に伊豆高原に移住し、自然にそった暮らしや「心と体の癒し」などをめぐるエッセイを書きながら、絵のある生活を実践した創作活動を行う。2008年死去、享年60歳。

関連企画

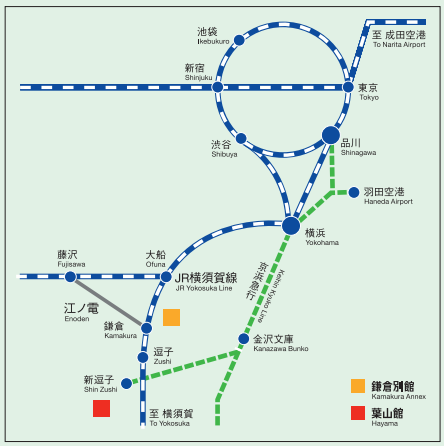
○谷川晃一氏によるアーティスト・トーク
「雑めく心」 11月13日(日)
「陽光礼讃」 12月3日(土)

○対談 谷川晃一氏×原田光氏(美術評論家) 2017年1月14日(土)
各日午後2時－3時30分
会場:神奈川県立近代美術館 葉山 講堂
＊申込不要(当日先着70名)、参加無料

○学芸員によるギャラリー・トーク
11月20日(日)、12月18日(日) 各日午後2時－2時30分
＊申込不要、参加無料(ただし「陽光礼讃展」の当日観覧券が必要です)

同時開催

葉山館「コレクション展2:光、この場所で 特集展示:坂倉新平」
10月22日(土)－2017年1月15日(日)
鎌倉別館「松本竣介 創造の原点」
10月8日(土)－12月25日(日)



［葉山館への交通案内］

電車・バス:JR横須賀線「逗子」駅前(3番のりば)、または京浜急行「新逗子」駅前(南口2番のりば)から京浜急行バス「逗11、12系統(海岸回り)」に乗車し、「三ヶ丘・神奈川県立近代美術館前」で下車(所要時間約20分)。

車:横浜横須賀道路逗子ICから逗葉新道経由で7.6km、または横須賀ICから県道27号横須賀葉山線経由で7.2km。

［葉山館駐車場(有料)のご案内］

営業時間:午前8時30分－午後6時(入庫は午後4時30分まで)
駐車料金(1時間/追加は30分毎に加算):普通車400円、バス1,200円

- 「陽光礼讃」展観覧券をお持ちの方は1時間無料です。
- レストランやショップで2,000円以上ご利用頂いた方は1時間無料です(併用で最大2時間無料)。
- 貸切バス(定員11名以上)でご来館の場合、駐車場の事前予約および前面道路の通行許可申請が必要です。団体名、連絡先、来館日時、台数をご連絡ください。

神奈川県立近代美術館 葉山
The Museum of Modern Art, Hayama
〒240-0111
神奈川県三浦郡葉山町一色2208-1
Tel.046-875-2800
http://www.moma.pref.kanagawa.jp
公式ツイッターアカウント@KanagawaMoMA

The Museum of Modern Art, Kamakura & Hayama
神奈川県立近代美術館